

相良啓子（国立民族学博物館）

(ksagara@minpaku.ac.jp)

1. はじめに

日本手話と歴史的に関係がある言語には、台湾手話と韓国手話があることが報告されている（Sasaki 2007, Fischer and Gong 2010）。これは、台湾では、日本統治時代に台北では東京、台南では大阪の聾学校の教師により手話が普及したという背景（Smith 2005）を反映している。また、韓国では、1913年設立された「済生院」に日本人の教員が派遣されており（朝鮮総督府済生院 1999）、その結果、これらの3手話には共通した表現が多くみられる。本発表では、これらにおいて、形が共通してみられる表現を取り出し、現在使われている意味を比較することで、それらに起こった意味変化を明らかにする。音声言語では、意味の向上・下落・拡大・縮小・分岐・推移など様々な意味の変化が報告されている。例えば、意味の向上の例としては、英語の *minister* があげられる。もともと「召使い」を示していたが、「大臣」に変化した。また、意味の拡大の例として、「イモ」という単語で、もともと山芋の類いを指していたが、ジャガイモやサツマイモもその中に含まれるようになったなどが挙げられる（斉藤 2010）。ここでは、手話言語においても、意味の縮小・拡大・変化がみられることを示す。

2. 方法

発表者は、2016年～2018年の間に、日本手話（東京と大阪）、台湾手話（台北と台南）、韓国手話（ソウル、釜山、済州島）について、20代から90代までの幅広い年齢の話者からデータ収集を行った。日本20名（東京：10名、大阪：10名）、台湾20名（台北：10名、台南：10名）韓国11名（ソウル4名：釜山：4名：済州島3名）の協力を得た。方法としては、会話における自然発生的な表現と、語彙リストによる聞き取りを行った。会話は、ネイティブユーザー2人組によるものを録画し、台湾では日本手話と台湾手話、韓国では日本手話と韓国手話の2言語が理解できる現地の研究アシスタントと一緒に、意味を確認しながら内容を記述した。語彙リストによる調査では、対応する複数の表現がある場合には、語の使い方の違いなどについて、その場で随時コメントを求めた。フィールドワークで得られたデータ以外に、文献資料を参考にした。

3. 結果

文献により知られている古い日本手話における意味と、現在使用されている日本手話、台湾手話、韓国手話の語の意味との比較を通して、意味の縮小、拡大、意味の変化が起こった語があることがわかった。以下に具体的な例を示す。

3.1. 意味の縮小

1) 「朝」の表現（韓国手話における変化）

こめかみ付近に当てた利き手のこぶしをすばやく下に下ろす表現（図1: MORNING_1）は、もともと「日が昇る頃から正午までの『午前』」の意味で使われていたと考えられる。日本手話や台湾手

話では、この意味が保持されているが、韓国手話では、「日が昇る前の時刻」「夜明け」に意味が変化した。現在の韓国手話での「朝」の表現は、利き手で太陽を示すように人差し指と親指で輪を作り、日が昇る様子を表す形（図 1 の MORNING_3）となっている。¹

日本手話：「朝」 台湾手話：「朝」	韓国手話： 「夜明け」	韓国手話：「朝」
 〈朝〉	 새벽 dawn よあけ	 아침 morning
MORNING_1 (財団法人全日本ろうあ連盟 2011: 23)	MORNING_2 (Cho and Soon 2000:62)	MORNING_3 (Cho and Soon 2000:61)

図 1 各言語の「朝」の意味と手話表現

日本手話および台湾手話の「朝」という表現は、韓国手話では異なる意味となっているので、(1)のように、韓国手話の同じ形の表現を、日本手話と台湾手話と同じ文では使用できない。

(1) 「明日の朝、9時に友達と会う」

日本手話・台湾手話： MORNING_1 9時 友達 会う
韓国手話： *MORNING_1 9時 友達 会う

2) 「上手」の表現 (熊本の日本手話)

利き手の手のひらを非利き手の腕下から手首のほうへなでるように動かす表現(図 2)は、現在の日本手話では、「上手」を表す。熊本の日本手話では、この表現が、「上手」だけでなく「物事がスムーズに運ぶ」「間に合う」という意味でも使われていたが(松永 2018)、現在では日本手話と同じ意味に範囲が縮小した。

¹ 韓国手話の「夜明け」「朝」には、バリエーションがある。例えば、「夜明け」を意味する表現は、日本手話の「朝」のように利き手のこぶしをまっすぐ下に下ろすのではなくカーブを描くように下に下ろす表現、「朝」を意味する表現には、太陽が山から昇るように非利き手の中指を立てて山を示す表現に変えて表すものなどである。



図 2 日本手話「上手」 (財団法人全日本ろうあ連盟 2011: 614)

3.2. 意味の拡大と変化

本節では、意味の拡大と変化の例を挙げる。

1) 「上手」「下手」の表現

図 3 の表現 A と表現 B は、いずれも 3 手話で共通して使用されるが、言語により意味が異なっている。現在の日本手話では、それぞれ「上手」「下手」の意味となっている。韓国手話では、表現 A は「上手」の他に「良い」「上手くいっている」という意味でも使用されるようになり、表現 B は、「下手」の他に「間違い」という意味でも使用されるなど、いずれの表現でも日本手話に比べて意味が広い。一方で、台湾手話では、それぞれ「可能」「不可能」という異なる意味で使われる。表現 A と表現 B について、これらの意味範囲の関係を図 3 に示す。

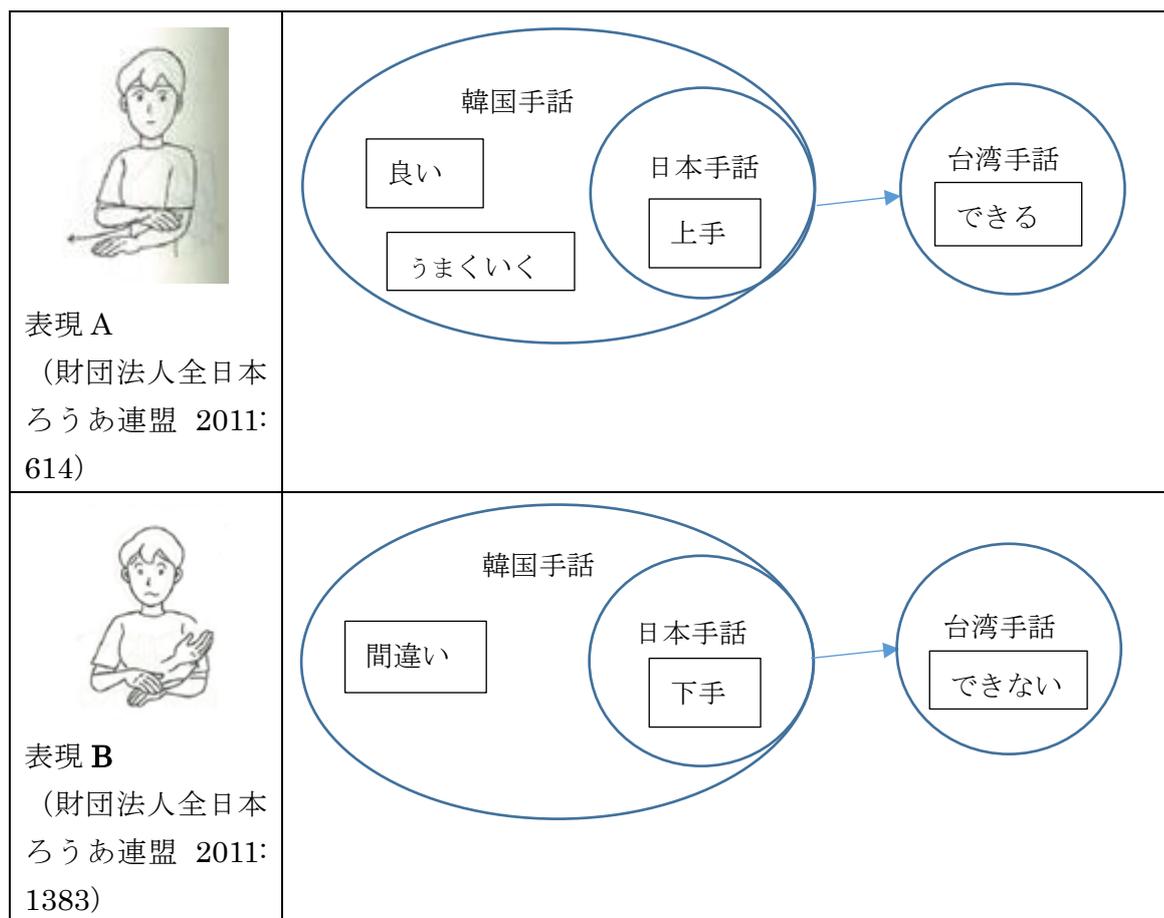


図 3 各言語における表現 A と表現 B の意味

台湾手話の表現 A・B の意味が、他の言語とは異なることは、たとえば、同じ表現を並べて「私 父 料理 表現 A/B」（私の父は料理が A/B です。）という文にするとわかりやすい。（2）と（3）にみられるように、日本手話と韓国手話では、この文は、技術のレベルを意味しており、「上手」か「下手」かを述べる表現になるが、台湾手話では同じ形の文でも、技術のレベルの意味合いは含まれず「可能」か「不可能か」という意味となっている。

（2）日本手話／韓国手話：私 父 料理 表現 A 「私の父は料理が上手です」
台湾手話：私 父 料理 表現 A 「私の父は料理ができます」

（3）日本手話／韓国手話：私 父 料理 表現 B 「私の父は料理が下手です」
台湾手話：私 父 料理 表現 B 「私の父は料理ができません」

一方で、台湾手話の表現 A・B には、（4）で示したように、可能性や妥当性を表す意味があるが、このような用法は日本手話および韓国手話ではみられない。

（4）台湾手話：
話者 1）リンゴ 1 斤 50 ドル 表現 A 表現 B 高い？
「リンゴ 1 斤で 50 ドルの値段、どうですか？」
話者 2）表現 A 表現 A
「買えます。」

このように、表現 A・B は、形は 3 手話に共通してみられるが、意味が異なっていることから、分岐後、意味が変化したことがわかる。このうち、日本手話と韓国手話における変化の方向性については、今後、分析をすすめ特定する必要がある。台湾手話については、現在「上手」を表す表現（図 4 左）および「下手」を表す表現（図 4 右）はいずれも上海で使われる中国手話と共通している。台湾では、日本手話の導入後に中国手話の影響を受けたことが歴史的に知られているため、これらの表現は、中国手話から新しく入ったものだと考えることができ、おそらく、現在日本手話もしくは韓国手話にみられる意味から、現在の意味に変化したのであろうと推測できる。

「上手」	「下手」
	
「上手」 ^ 「良い (中国手話)」	「悪い (中国手話)」

図 4 台湾手話の「上手」「下手」

2) 「良い」の表現

利き手のこぶしを鼻の上におく図 5 の表現は、3手話で動きにバリエーションが見られるものの、共通して「良い」という意味で使用されている²。日本手話では、「良い」という意味でのみ使用されているが、台湾手話では、「良い」の他に、挨拶の時に使う「こんにちは」の意味、韓国手話では「好き」の意味でも使用される。日本手話と台湾手話には、「好き」を表す別の形が共通してみられることから、分岐時の日本手話には、図5の「良い」の表現と、別に「好き」の表現があったと考えられるため、この例については、韓国手話で意味が拡大したと考えられる。

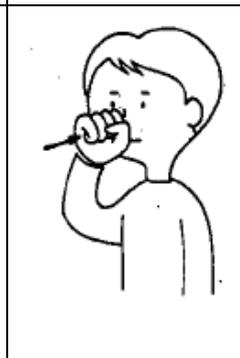
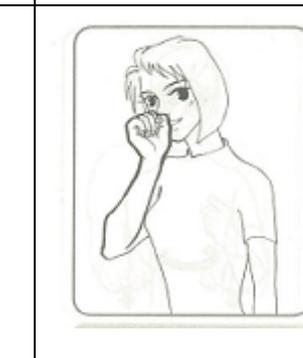
日本手話：「良い」	台湾手話：「良い」	韓国手話「良い」
		
(財団法人全日本ろうあ連盟 2011:1585)	(中華民国聾人協会: 2013:56)	(Cho and Soon 2000:26)

図 5 「良い」の表現

4. おわりに

本発表では、日本手話、台湾手話、韓国手話における意味の縮小、拡大、変化の例を示した。意味の変化は、それぞれの言語や対象とする語によって多様であり、意味の変化が起こった動機や背景についても分析を進める必要があると感じている。例えば、台湾手話は、1949年から中国手話の影響を受けていることが報告されている (Smith 2005)。台湾手話でもともと「上手」「下手」を示していた手話表現が、現在の「可能」「不可能」の意味に変化した背景には、中国手話の影響がある可能性があり、その関連性について更なる分析が必要である。また、音声言語の文字からの影響も変化の理由として考えられる。中国語の「你好 (ニーハオ)」には、「良い」という意味が含まれており、その影響でもともと「良い」を表していた語の意味が「こんにちは」を表す表現に拡大したとも考えられるが、現時点では裏付けはとれていない。

今回取り上げた語の意味変化に関する研究を深めていくためには、形が共通する語にはどのような用法の違いがあるのかについて焦点をあてた自然発生的な会話分析ができる設定を工夫する必要がある。手話言語については、これまで意味の変化に関する研究がほとんどない。今後、この研究を進めることで、意味変化一般について、より広い知識が得られることが期待される。

² 3手話においてそれぞれ動きのバリエーションがある。例えば、日本手話においても、利き手のこぶしを鼻の方に近づける、動きは伴わない表現もあり、図5に示したものは1例である。

謝辞

本研究に協力して下さった、日本手話、台湾手話、韓国手話話者の皆様、現地に心からお礼申し上げます。また、韓国語の翻訳および韓国手話の意味の確認に協力して下さった Kang-Suk Byun 氏、台湾手話の意味の確認に協力して下さった荒田真由美氏、写真の掲載を許可して下さった Ku Yu Shan 氏に感謝いたします。本研究は、JSPS 科研費挑戦的萌芽研究「日本手話と台湾手話の歴史変化の解明：歴史社会言語学の方法論の確立にむけて」（課題番号 JP16K13229・研究代表者 相良啓子）の助成を受けました。

引用文献

中華民国聾人協会 2013 『手能生橋』第一冊 台北：東鑫印刷

朝鮮総督府済生院盲啞部 1938 『朝鮮総督府済生院盲啞部 創立二十五年』

Fischer, Susan D. and Qunhu Gong 2010 Variation in East Asian Sign Language Structures. In D. Brentari (ed.) *Sign Languages*. 499-518. Cambridge: Cambridge University Press.

Jo Cho Tea and Sun Soon 2000 *Sign Language Bank* Soul.

松永 郎 2018「熊本の手話の歴史」『手話・言語・コミュニケーション』No. 5. 日本手話研究所(編)、pp. 28-42. 京都：文理閣.

斉藤 純男 2010 『言語学入門』東京：三省堂.

Sasaki, Daisuke 2007 Comparing the Lexicons Japanese Sign Language and Taiwan Sign Language: A Preliminary Study Focusing on the Difference in the Handshape Parameter. In D. Quinto-Pozos (ed.) *Sign Languages in Contact*. 123-150. Washington D.C.: Gallaudet University Press.

Smith, W. Hayne 2005 Taiwan Sign Language Research: An Historical Overview. *Language and Linguistics* 6(2): 187-215.

財団法人全日本ろうあ連盟 2011 『新日本語一手話辞典』東京：中央法規出版株式会社